

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター谷山中央

作成担当者： 大園 美穂

【計画】

開催日時	令和元年10月24日 10:00~11:30	開催場所	特別養護老人ホーム ふれーす谷山 交流会議室
参加者	民生委員:3人、谷山校区町内会4班:5人、谷山校区町内会4班 老人会:1人、コミュニティ協議会:1人、居宅介護支援事業所:1人、特別養護老人ホーム:1人、通所介護サービス事業所:2人、福祉用具貸与・販売事業所:2人、地域包括支援センター職員:4人		
	総数 20 人		
内容	テーマ	①会議の目的、主旨について ②高齢者の集まりの場、担い手について	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発	
	概要	①地域ケア推進会議等で抽出された地域課題（集まりの場・担い手の不足、移動手段）について出席者全員で共有を図り、本会議開催の主旨・目的について理解しあう。 ②谷山中央3-4丁目地区（谷山校区4班）に焦点を当て、民生委員、町内会・老人会の会長、介護保険サービス事業所を交え、地域の身近な場所に住民主体の集いの場づくりに向けた検討を行う	

【結果】

開催日時	令和元年10月24日 10:00~11:30	開催場所	特別養護老人ホーム ふれーす谷山 交流会議室
参加者	民生委員:3人、谷山校区町内会4班:5人、谷山校区町内会4班 老人会:1人、コミュニティ協議会:1人、居宅介護支援事業所:1人、特別養護老人ホーム:1人、通所介護サービス事業所:2人、福祉用具貸与・販売事業所:2人、地域包括支援センター職員:4人		
	総数 20 人		
内容	<ul style="list-style-type: none">・特養ふれーす谷山より、地域住民に対し交流会議室を無料開放したいとの施設の意向を確認でき、同施設が集いの場として有効な社会資源であることを全員で認識できた。施設や会議室の存在自体を知らなかった出席者もあり、本会議を通じて住民側と施設側が互いを知る機会となった。・校区4班内で営業している各サービス事業所側からも、地域の集まりに出向き各種専門を活かした介護・認知症予防への普及啓発、取り組み等の協力姿勢があり、地域の社会資源の一つとして活用できることを全員で認識できた。・公民館の老朽化、冷暖房の不備等の課題を抱える町内会からは、ふれーす谷山の交流会議室の活用に向け前向きな発言が聞かれた。地域住民にとっては同施設に馴染みがないため、まずは同会議室が無料利用できることを地域住民に知ってもらい、活用してもらうことが大事であるとの意見を共有できたのは成果である。		
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">・同会議室が有効な社会資源と認識できた半面、町内会を超えた枠組みで新たな集いの場をつくることに躊躇する意見や移動手段、担い手、運営管理責任等に対する課題については検討を深められなかった。・同施設の周知広報については各町内会の動向を見守りつつ、必要に応じ町内会や民生委員、各事業所等と連携や意見交換を行いながら、引き続き集いの場づくりについて検討していく		